

# 『庭のをしへ（略本）』語彙索引（稿） 自立語篇

若 林 俊 英  
黒 沢 絵 美

## 凡 例

一 この索引は、『庭のをしへ（略本）』に用いられているすべての単語を収載したものである。語の認定は、おおむね学校文法によった。

二 この索引の本文は、『扶桑拾葉集』所収本を翻刻した、『校註 阿佛尼全集 増補版』（築瀬一雄氏編、風間書房刊）所収の「庭の訓（略本）」によった。

三 本文の誤植と思われる箇所については私に訂正した。

四 漢字の読みについて

1 「御」は、慣行によって一往読み分けた。

2 「夜」は「よ」に、「候」は「さぶらふ」に、それぞれ統一した。

## 五 語彙索引について

1 この索引は、Ⅰ自立語篇 Ⅱ付属語篇よりなる。

2 見出し語は、単語・複合語・接辞、ないし一つづきにした方がよいと思われる語句を掲げた。接辞を含む語、複合語、一つづきの語においては、そのままでの形の他に、これらを構成している単位に分解した形でもあげた。

3 語の配列の見出しは、五十音順に従ったが、同音の語にあつては、原則として、次のような順によつた。

名詞・代名詞・動詞・形容詞・形容動詞・副詞・連体詞・接統詞・感動詞・接頭語・接尾語

4 語の所在は、本文の頁数・行数で示した。

5 活用語は、原則として終止形の項にまとめ、各活用に従つて分類したものを列挙した。なお、次の略号を用いた。

未然形Ⅱ未 連用形Ⅱ用 終止形Ⅱ止 連体形Ⅱ

体 已然形Ⅱ已 命令形Ⅱ命

ただし、形容詞・形容動詞の語幹は、幹 とし、未然形の前に示した。

6 見出し語の括弧について。「」内に意味識別上の便宜から、できるだけ漢字を当てた。「」内には文法的機能を示した。後者にあつては、次の略号を用いた。

名詞Ⅱ名 代名詞Ⅱ代名 形容詞Ⅱ形 形容動詞Ⅱ形動 副詞Ⅱ副 連体詞Ⅱ連体 接統詞Ⅱ接感動詞Ⅱ感 助動詞Ⅱ助動 助詞Ⅱ助 接頭語Ⅱ接頭 接尾語Ⅱ接尾 枕詞Ⅱ枕  
ただし、動詞については(四)(上二)(上二)のごとく活用の種類を示した。

7 付属語においては、使用の便を考えて、接統等により、ある程度分類したものもある。

六 解釈上不安定な部分があり、不備な点が多い。博雅の方のご教示を賜りたい。

## I 自立語

### あ

あかしくらし〈用〉

一四八⑪

あか・す〔明かす〕

↓あかしくらす

あき〔秋〕(名)

一五〇⑥

あく〔悪〕

↓あくせ

あ・く〔飽く〕(四)

あか〈未〉

一四八⑧

あ・ぐ〔上ぐ〕(下二)

あげ〈用〉

一四三⑪

あくせ〔悪世〕

↓ごちよくあくせ

あさ〔浅〕

↓あさぢ

あさぢ〔浅茅〕(名)

一四七⑥

あさま・し〔浅まし〕(形)

あさましき〈体〉

一四四⑨ 一四七⑪

あざむ・く〔欺く〕(四)

あざむき〈用〉

一四七⑨

あ・し〔悪し〕(形)

あしく〈用〉

一四二⑤

あかしくら・す〔明かし暮らす〕(四)

あした〔朝〕(名)	一四四⑪	一四八⑦	↓おんあふぎ	
あそばす〔遊ばす〕(四)			あま〔尼〕(名)	一四九⑩
あそばし〔用〕		一四二⑭	あまね・し〔遍し〕(形)	
あたらしき〔体〕		一四六③	あまねく〔用〕	一四九④
あ・つ〔当つ〕(下二)			あまり・なり〔余りなり〕(形動)	
あて〔未〕		一四八⑤	あまりに〔用〕	一四二④ 一四二④ 一四四⑪
あつ・し〔暑し〕(形)			あま・る〔余る〕(四)	一四一⑨
あつき〔体〕		一四八⑥	あまり〔用〕	
あと〔跡〕(名)		一四二⑧	あやま・つ〔誤つ〕(四)	一四三③
あな〔感〕	一四七①	一五一④	あやまた〔未〕	一四六⑬
あはあは・し〔淡淡し〕(形)			あやまち〔用〕	
あはあはしき〔体〕	一四七①	一四七⑧	あら〔感〕	
あは・す〔合はす〕(下二)			あら・し〔荒し〕(形)	
あはせ〔未〕		一四九⑪	あらき〔体〕	一四八⑤
あはせ〔用〕		一四三⑩	あらそ・ふ〔争ふ〕(四)	
あはれ・なり〔形動〕		一五〇⑨	あらそひ〔用〕	一四七⑥
あはれに〔用〕		一五〇⑦	あらそふ〔体〕	一四六④
あはれなる〔体〕	一四三⑧		↓きしろひあらそふ	
あはれ・む〔憐む〕(四)		一四九⑤	あらたま・る〔改まる〕(四)	一四七④
あはれま〔未〕		一四八⑦	あらたまり〔用〕	一四五②
あふぎ〔扇〕(名)			あらぬ〔連体〕	

あ・り〔有り・在り〕(ラ変)

ある〈体〉一四四⑤ 一四四⑤ 一四五⑤

↓ありさま・あるかなきか・あるまじ

あ・り〔有り・在り〕(補助動・ラ変)

あら〈未〉

あり〈用〉

↓やらむ(↓付属語)

ありさま〔有り様〕(名)

ある〔或・有〕(連体)

あるかなきか〔有るか無きか〕

ある・まじ〔有るまじ〕

あるまじく〈用〉

い

いかが〔如何〕(副)

いかで〔如何で〕(副)

いか・なり〔如何なり〕(形動)

いかに〈用〉

一五一③

いかなる〈体〉

いかに〔如何に〕

↓いかなり・いかにいかに・いかにぞや・いかにも

いかにいかに〔如何に如何に〕

いかにぞや〔如何にぞや〕

いかにも〔如何にも〕

い・く〔生く〕(四)

いく〈体〉

いく〔幾〕

↓いくたび・いくとせ

いくたび〔幾度〕(名)

いくとせ〔幾年〕(名)

いさ(副)

いさ・む〔禁む・諫む〕(下二)

いさめ〈用〉

いだ・す〔出だす〕(四)

いださ〈未〉

いたづらごと〔徒ら事〕(名)

いたは・し〔勞し〕(形)

いたはし〈幹〉

↓おんいたはし

いたはりかしづ・く〔勞り傳く〕(四)

いたはりかしづか〈未〉

いたは・る〔勞る〕

一四二①

一四四⑤

一四一⑧

一四一⑧

一四七⑪

一四七⑪

一四九③

一四九③

一四一⑪

一四一⑪

一四五②

一四一③

一四一③

一四一③

一四四③

一四四③

一四六⑬

一四六⑬

一四八⑨

一四八⑨

↓いたはりかしづく

いち〔一〕

↓いちにち

いちにち〔一日〕(名)

いつ〔五〕

↓いつつ

い・づ〔出づ〕

↓まなびいづ

いつつ〔五つ〕(名)

いつはり〔偽り〕(名)

いづち〔何方〕(代名)

いづみ〔泉〕(名)

いとな・む〔営む〕(四)

いとなま〔未〕

いとほ・し〔形〕

いとほしく〔用〕

いのち〔命〕(名)

いは・ふ〔祝ふ〕(四)

いはひ〔用〕

いひな・す〔言ひ做す〕(四)

いひなさ〔未〕

い・ふ〔言ふ〕(四)

いは〔未〕

いひ〔用〕

↓いひなす・いふかひなし

いふかひな・し〔言ふ甲斐無し〕

いふかひなく〔用〕

いま〔今〕(名)

↓いまのよ・いままゐり

いまのよ〔今の代〕

いままゐり〔今参り〕

↓おんいままゐり

いみ・じ〔形〕

いみじき〔体〕

一五〇⑭

一四六⑭

一四七⑤

一四九①

いよいよ〔愈〕(副)

いり〔入り〕

↓おんいり

いる〔入る〕(下二)

いれ〔用〕

いろ〔色〕(名)

う

う・う〔植う〕(下二)

一四九⑨

一四五②

一四二⑪

一四八①

一四四②

一四三⑪

一四三⑥

一五一④

一四六⑦

一四六⑦

一四一④

一四八⑨

一四八⑩

一四八⑧

一四四⑧

うゑ〈用〉

一五〇⑧

うか・ぶ〔浮かぶ〕(下二)

↓うちとく・うちはらふ

うかべ〈用〉

一四五④

うきな〔憂き名〕(名)

一四八①

うきよ〔憂き世〕(名)

一四八②

う・し〔憂し〕(形)

うちとけにく・し〔打ち解け難し〕(形)

一四五③

うき〈体〉

一四一① 一五〇⑭

↓うきな・うきよ・こころうし・ものうげなり・もの

うし

うつく・し〔美し〕(形)

一五〇③

うす・し〔薄し〕(形)

うつくしく〈用〉

一四一⑬ 一四二⑬

うすから〈未〉

一四四⑥

うすく〈用〉

一四八⑥

一四三④

一四二⑩

一四三①

一四三②

うた

うと・し〔疎し〕(形)

一四八①

↓うたたね

うとき〈体〉

一四八③

うたたね〔仮寝〕(名)

一五〇⑭

うたて・し(形)

うら・む〔恨む〕(上二)

一四八③

うたてしく〈用〉

一四四⑬

うち〔中・内〕(名)

一四一⑦

一四一⑨

一四二⑥

↓まどのうち

うらめしく〈用〉

一四一⑥

うち〔打ち〕(接頭)

一四四⑩

うらめしげ・なり〔恨めしげなり〕（形動）

うらめしげなる〔体〕

一四六⑥

うらや・む〔羨む〕（四）

うらやみ〔用〕

一四一⑥

うるは・し〔麗し・美し〕（形）

うるはしく〔用〕

一四一⑨

一四六⑨

え

えら・ぶ〔選ぶ〕（四）

えらび〔用〕

一四四⑦

えん〔縁〕（名）

↓きえん・むえん

一四七②

えん・なり〔艶なり〕（形動）

えんなる〔体〕

一四三②

お

お〔御〕（接頭）

↓おまへ・おん・ご・み

おい〔老い〕（名）

おきて〔掟〕（名）

おきどころ〔置き所〕（名）

おきふし〔起き伏し〕（名）

一四八⑦

一四五⑦

一四四⑫

一四一③

お・く〔置く〕

↓おきどころ・さだめおく・ちぎりおく

お・く〔起く〕（上二）

おき〔用〕

一四八⑦

↓おきふし

おく・る〔後る〕

↓すすみおくる

おこなひ〔行ひ〕

↓おんおこなひ

おこ・る〔起こる〕（四）

おこり〔用〕

一五〇⑬

↓すすみおこる

おしはか・る〔推し量る〕（四）

おしはから〔未〕

一四二⑥

お・す〔押す・圧す・推す〕

↓おしはかる

おそろ・し〔恐ろし〕（形）

おそろしく〔用〕

一四五③

おと〔音〕（名）

おとな・し〔大人し〕（形）

おとなしく〔用〕

おの〔己〕（代名）

一四四⑭

一四二③

一四一⑪

一四一⑫

おのづから〔自ら〕（副） 一四二①

おはしま・す（補助動・四）

おはしまし〈用〉 一四二⑤ 一四三④ 一四三⑥

一四三⑩ 一四四① 一五〇④ 一五一①

一五一③

おはしませ〈命〉 一四四⑦ 一四九⑤ 一四九⑧

一四九⑩ 一五〇③

おひわか・る〔生ひ別る〕（下二）

おひわかれ〈用〉 一四五⑩

お・ふ（生ふ）

↓おひわかる

おぼえ〔覚え〕

↓おんおぼえ

おほかた〔大方〕（副） 一四一⑧ 一四九⑥

おほ・し〔多し〕（形）

おほく〈用〉 一四四④ 一四九⑦ 一五一③

おほしと・る〔思し取る〕（四）

おほしとり〈用〉 一四八⑭

おほしめしし・る〔思し召し知る〕（四）

おほしめししり〈用〉 一五〇⑭

おほしめしなげ・く〔思し召し嘆く〕（四）

おほしめしなげき〈用〉 一四一⑦

おほしめしよそ・ふ〔思し召し寄そふ・思し召し比ふ〕（下二）

おほしめしよそへ〈用〉 一五〇⑨

おほしめしわ・く〔思し召し分く〕（四）

おほしめしわき〈用〉 一四一①

おほしめ・す〔思し召す〕（四）

おほしめし〈用〉 一四一④ 一四二⑦ 一四三④

一四五⑤ 一四五⑫ 一四六⑥ 一四七⑦

一四七⑧ 一四七⑩ 一四八② 一四九②

一五〇⑪

おほしめす〈止〉 一四八⑥

おほしめす〈体〉 一四二①

↓おほしめししる・おほしめしなげく・おほしめしよ

そふ・おほしめしわく

おほしわ・く〔思し分く〕（四）

おほしわき〈用〉 一四一⑪

おほ・す〔仰す〕（下二）

おほせ〈未〉 一四四③

↓おほせかはす・おほせなす

おほ・す〔思す〕

↓おほしとる・おほしめす・おほしわく

おほせかは・す〔仰せ交はす〕（四）



おほせかはし〈用〉	一四四⑦	おもひ〈用〉	一四一②	一四一④	一四七⑨
おほせかはす〈体〉	一四九⑥	おもふ〈体〉	一四八⑨	一四八⑩	一四九②
おほせな・す〔仰せ成す〕(四)		↓おもひさだまる・おもひさだむ・おもひしる・おもひつづく・まうしおもふ			一四一⑥
おぼ・ゆ〔覚ゆ〕(下二)		おもむき〔趣〕(名)		一四五⑦	一四七⑦
おぼえ〈未〉	一四三④	おや〔親〕(名)		一四七⑦	一四三②
おぼえ〈用〉	一四一③	おやす・ぐ(下二)		一四七⑦	一四七⑩
一四七⑫	一四八⑥	おん〔御〕(接頭)		一四二③	一四二④
おまへ〔御前〕(名)	一四三⑨	↓おんあふぎ・おんいたはし・おんいままゐり・おんいり・おんおこなひ・おんおぼえ・おんかほ・おんこと・おんさうし・おんさま・おんしる・おんすまひ・おんたきもの・おんつれづれなり・おんとし・おんな・おんにほひ・おんのう・おんびは・おんぶつじ・おんふみ・おんほど・おんまじろひ・おんみ・おんゆくすゑ・お・ご・み			
おもひ(思ひ)(名)	一四九⑦	おんあふぎ〔御扇〕(名)		一五〇④	
↓おもひで	一四一⑤	おんいたはし・し〔御労し〕(形)			
おもひさだま・る〔思ひ定まる〕(四)		おんいたはしく〈用〉		一四八⑫	
おもひさだまら〈未〉	一四一⑩	おんいままゐり〔御今参り〕(名)		一四三⑨	
おもひさだ・む〔思ひ定む〕(下二)		おんいり〔御入り〕(名)		一四四⑫	
おもひさだめ〈用〉	一四六①				
おもひし・る〔思ひ知る〕(四)					
おもひしら〈未〉	一四一⑨				
おもひしり〈用〉	一四八⑫				
おもひつづ・く〔思ひ続く〕(下二)					
おもひつづけ〈用〉	一四一⑧				
おもひで〔思ひ出〕(名)	一五一②				
おも・ふ〔思ふ〕(四)					

おんおこなひ〔御行ひ〕(名)	一四六⑩	おんまじろひ〔御交ろひ〕(名)	一四六③
おんおぼえ〔御覚え〕(名)	一四六④	おんみ〔御身〕(名)	一四一②
おんかほ〔御顔〕(名)	一四四⑫		一四五⑪
おんこと〔御事〕(名)	一四二①	おんゆくすゑ〔御行く末〕(名)	一四八⑬
一四七⑧	一四六⑥		一四九①
一四八⑤	一四七①		
おんさうし〔御草紙〕(名)	一四九⑩	か	
おんさま〔御様〕(名)	一四二⑦	かい〔戒〕(名)	一四九⑧
おんしゝる〔御知る〕(四)	一四六⑨	かいりう〔海龍〕	
おんしる〔体〕	一四四⑦	↓かいりうわう	
おんすまひ〔御住居〕(名)	一四七⑤	かいりうわう〔海龍王〕(名)	一四七⑨
一四八⑫		かう〔香〕	
おんたきもの〔御薰き物〕(名)	一四九⑪	↓かうぐ	
おんつれづれ・なり〔御徒然なり〕(形動)	一四二⑭	かうぐ〔香具〕(名)	一五〇①
おんつれづれなら〔未〕	一四二⑭	かき〔掻き〕(接頭)	
おんとし〔御歳〕(名)	一四三⑧	↓かきませ	
おんな〔御名〕(名)	一四三⑩	かきかはす〔書き交はす〕(四)	
おんにほひ〔御匂ひ〕(名)	一五〇②	かきかはす〔体〕	一四四④
おんのう〔御能〕(名)	一四二⑬	かきなら・ふ〔書き習ふ〕(四)	
おんびは〔御琵琶〕(名)	一四三⑪	かきならひ〔用〕	一四二⑬
おんぶつじ〔御仏事〕(名)	一四九④	かきませ〔掻き雑ぜ〕(名)	一五〇②
おんふみ〔御文〕(名)	一四一③	か・く〔書く〕(四)	
おんほど〔御程〕(名)	一四二⑥	かか〔未〕	一四二⑫

↓かきかはす・かきならふ・すすみかく  
かく〔斯く〕

↓かくて・とかく・かくに

かく・す〔隠す〕

↓ひきかくす

かくて〔斯くて〕

↓かくても

かくても〔斯くても〕

↓とてもかくても

かくに

↓とにかくに

かき・ぬ〔重ぬ〕(下二)

かさね〔用〕

かしこ〔彼処〕(代名)

かしこ・し〔畏し・賢し〕(形)

かしこ〔幹〕

かしこき〔体〕

かしづきす・う〔傳き据う〕(下二)

かしづきすゑ〔用〕

かしづ・く〔傳く〕(四)

かしづか〔未〕

↓いたはりかしづく・かしづきすう

かず〔数〕(名)

↓かずならず

かすが〔春日〕(名)

かすか・なり〔幽かなり〕(形動)

かすかなる〔体〕

かすがの〔春日野〕(名)

かずなら・ず〔数ならず〕

かずならず〔用〕

かずならぬ〔体〕

かぜ〔風〕(名)

かた〔方〕(名)

かたくなは・し〔頑はし・癡はし〕(形)

かたくなはしき〔体〕

かたじけな・し〔辱し・忝し〕(形)

かたじけなく〔用〕

かたじけなき〔体〕

かたち〔形・容姿・容貌〕(名)

かたほ・なり〔片秀なり・偏なり〕(形動)

かたほなる〔体〕

かど〔門〕(名)

かな・し〔悲し〕(形)

かなしく〔用〕

一四六⑤  
一五〇①

一四九②

一四七⑤

一四四①

一四六②

一四六⑤

一四八⑦

一五一⑥

一四八④

一四八⑪

一四六⑥

一四二⑬

一四一⑬

一四五⑧

一四七⑥

一四七⑦

一四六⑪

かの〔彼の〕  
かは〔川〕

一四九⑨

かへ・る〔返る・帰る・還る〕(四)  
かへる〔体〕

一四一⑥

↓かはなみ  
かは・す〔交はす〕

かほ〔顔・貌〕  
↓おんかほ

一四一⑥

↓おほせかはす・かきかはす  
かはなみ〔川波〕(名)

一四四⑪

かは・る〔変はる・代はる・替はる〕(四)

がま・し〔接尾〕  
↓をこがまし

一四三⑤

かはり〔用〕

一四七④

かひ〔甲斐〕

かまへて〔構へて〕(副)  
↓かまへて

一四三⑤

↓かひがひし・かひなし・まさりがひ

かみ〔神〕(名)  
↓かみほとけ

一四九②

かひがひしく〔用〕

かみ〔髪〕(名)

一四八⑧

かひな・し〔甲斐無し〕

一四三⑨  
一四六④

かみほとけ〔神仏〕(名)

一四八⑧

↓いふかひなし

かも〔賀茂〕(名)

一四四⑪

か・ふ〔交ふ・替ふ・換ふ〕(下二)

かり〔仮〕

一四四⑪

かへ〔用〕

↓かりにも

一四九⑧

かぶり〔被り・冠〕(名)

一四六⑨

かりにも〔仮にも〕(副)

一四九⑧

かへ・す〔返す〕

か・る〔枯る〕

一四九⑧

↓かへすがへす

↓かれはつ

一四九⑧

かへすがへす〔返す返す〕(副)

一五〇⑧

かれ〔枯れ〕

一四四⑭

かへり〔返り・帰り・還り〕

↓しもがれ

一四六⑭

↓たちかへり

かれ〔彼〕(代名)

一四四⑭

一四六⑭

かれは・つ〔枯れ果つ〕(下二)

かれはて〔用〕

一四五⑩

きちやう〔几帳〕(名)

一四四⑫

きのないしどの〔紀内侍殿〕(名)

一五一⑤

き

きは〔際〕(名)

一四四⑬

↓ひときは

き〔紀〕

きみ〔君〕(名)

一四二⑧

一四六③

一四六⑥

↓きのないしどの

き〔木・樹〕(名)

一四七②

き〔機〕

ぐ〔具〕

↓きえん

↓かうぐ

きえん〔機縁〕(名)

一四九⑨

きか・す〔聞かす〕(下二)

ぐう〔宮〕

きかせ〔用〕

一四五⑨

くき〔草〕(名)

一四七②

一五〇⑫

き・く〔聞く〕(四)

くだ・く〔砕く〕(四)

きか〔未〕

一四五③

くだき〔用〕

一四五④

↓みきく・もれきく

くた・す〔朽たす・腐す〕

きこ・ゆ〔聞こゆ〕

↓みがきくたす

↓もれきこゆ

くだ・る〔下る・降る〕(四)

きさき〔后〕(名)

一四七⑨

くだれ〔命〕

きしろ・ふ〔軋ろふ〕

くつ〔沓・靴・履〕(名)

一四八⑬

↓きしろひあらそふ

くはは・る〔加はる〕(四)

一四四⑭

きしろひあらそ・ふ〔軋ろひ争ふ〕(四)

くははり〔用〕

一四三⑤

きしろひあらそふ〔体〕

一四五⑭

くは・ふ〔加ふ〕(下二)

くはへ〈未〉

一四五①

くば・る〔配る〕(四)

くるしめ〈用〉

一五一①

くばら〈未〉

一四九④

くも〔雲〕

くれ〔呉〕(接頭)

一四五⑩

↓くもゐ

↓くれたけ

くも〔蜘蛛〕

け

↓くもで

げ〔接尾〕

くもで〔蜘蛛手〕(名)

一四一⑥

くもゐ〔雲居・雲井〕(名)

一五一⑥

くやう〔供養〕

↓うらめしげなり・にくいげなり・はかなげなり・ものうげなり

↓くやうす

けうまん〔輕慢〕(名)

一五〇⑪

くやう・す〔供養す〕(サ変)

けしき〔気色〕(名)

一五〇⑦

くやうする〈体〉

一四九⑤

くら・し〔暗し〕(形)

け〔懈〕

一五〇⑪

くらき〈体〉

一四六⑩

一四七⑧

くら・す〔暮らす〕

けだい〔懈怠〕(名)

一五〇⑪

↓あかしくらす

↓げに

くる・し〔苦し〕(形)

げに〔実に〕(副)

一四一④

くるしく〈用〉

一四一⑤

一四一⑩

一四三⑤

くるしき〈体〉

一四六④

↓こころぐるし

こ

くるし・む〔苦しむ〕(下二)

こ〔此〕

↓この

ご〔五〕

↓ごちよく

ご〔御〕〔接頭〕

↓ごしよ・ごらん・お・おん・み

こきん〔古今〕〔名〕

ここ〔此処・此所〕〔代名〕

ここち〔心地〕〔名〕

↓みだりごこち

こころ〔心〕〔名〕

一四二⑥

一四四⑦

一四一③

一四一⑭

一四八⑩

一四八⑬

一四九③

一五〇⑪

↓こころうし・こころぐるし・こころならず・こころにくし・こころぼそし・こころむけ・こころやすし・

みこころ

こころう・し〔心憂し〕〔形〕

こころうかる〔体〕

こころぐる・し〔心苦し〕〔形〕

こころぐるしから〔未〕

こころぐるしく〔用〕

こころぐるしき〔体〕

こころなら・ず〔心ならず〕

こころならず〔用〕

こころにく・し〔心憎し〕〔形〕

こころにくく〔用〕

こころぼそ・し〔心細し〕〔形〕

こころぼそき〔体〕

こころむけ〔心向け〕〔名〕

こころやす・し〔心安し〕〔形〕

こころやすき〔体〕

こ・し〔濃し〕〔名〕

こから〔未〕

ごしよ〔御所〕〔名〕

ごちよく〔五濁〕

↓ごちよくあくせ

ごちよくあくせ〔五濁悪世〕〔名〕

こと〔言〕

↓こととふ・ことば

こと〔事〕〔名〕

一四一⑦

一四一⑩

一四一②

一四一⑥

一四二④

一四二⑥

一四四④

一四四③

一四四⑨

一四四⑭

一四五②

一四五⑤

一四五⑧

一四五⑧

一四五⑪

一四五⑫

一四五⑬

一四五⑬

一四五⑭

一四六①

一四六③

一四五⑨

一四五⑪

一四八④

一四六⑭

一四四⑥

一四九⑨

一五〇⑪

一四六② 一四六⑤ 一四六⑥ 一四六⑪

一四八⑦  
一四八⑬  
一四八⑬  
一四九②

— 五〇② —  
— 五〇⑭ —  
— 五〇⑭ —  
— 五〇② —

↓いたづらごと・おんこと・ことごと・ことごとし・

ひがごと

こと〔琴〕（名）

$\rightarrow \text{Kurs der JdL}$

こと〔異〕（接頭）

→ 2000 →

ごと  
〔毎  
(接尾)

↓すたこと

ことごと「異事」(名)

「事」  
「形」

ことごとしく 月

こととしきへ体へ

言問

二、三「言葉」

この「七〇」

この〔此の〕



さ

さ〔然〕

↓さぞ・さやは

さう〔想〕

↓まうさう

さう〔箏〕

↓さうのこと

さうのこと〔箏の琴〕（名）

さうし〔草子・草紙〕

↓おんさうし

さすが・なり〔流石〕（形動）

さすがに〔用〕

さすら・ふ〔流離ふ〕（下二）

さすらへ〔未〕

さぞ〔然ぞ〕（副）

さた〔沙汰〕

↓まうしさた

さだま・る〔定まる〕（四）

さだまら〔未〕

さだ・む〔定む〕（下二）

さだめ〔用〕

↓さだめおく・みさだむ

さだめお・く〔定め置く〕（四）

さだめおき〔用〕

さと〔里〕

↓やまざと

さはり〔障り〕（名）

さぶら・ふ〔候ふ〕（四）

さぶらは〔未〕

一四三⑧

一四五②

一四三②

一四四⑥

一四四⑭

一四七⑥

一四九④

一四九⑦

一四九⑧

一五〇①

一五〇②

一四六④

一四八③

さぶらひ〔用〕

さぶらふ〔止〕

一四七⑨

一四七⑫

一四二①

一四七⑤

さぶら・ふ〔候ふ〕（補助動・四）

さぶらは〔未〕

一四一⑭

一四二⑨

一四一③

一四一⑦

一四三⑤

一四三⑥

一四二⑪

一四二⑪

一四五⑫

一四六②

一四四⑨

一四五⑫

一四六⑦

一四六⑪

一四七①

一四七③

一四九②

一四九⑨

一四九⑪

一五〇①

一五〇②

一五〇③

一五〇⑬

一五一①

一四七③

一四六⑩

さぶらひへ用 一五一③

一四二⑨

一四三⑤

一四三⑪

一四六①

一四六③

一四六③

一四七⑨

一四八⑤

一四八⑩

一四八⑪

一四八⑫

一四九②

一四九④

一五一②

一四一⑩

さぶらふへ止

一四一⑫

一四一⑭

一四二②

一四二②

一四二③

一四二④

一四二⑦

一四二⑦

一四二⑧

一四二⑧

一四二⑨

一四二⑨

一四二⑫

一四二⑫

一四二⑬

一四三①

一四三①

一四三②

一四三③

一四三⑧

一四四①

一四四①

一四四③

一四四③

一四四③

一四四④

一四四⑧

一四四⑧

一四四⑨

一四四⑩

一四四⑩

一四四⑪

一四四⑫

一四四⑫

一四四⑫

一四四⑬

一四五①

一四五④

一四五⑦

一四五⑨

一四五⑪

一四五⑬

一四五⑭

一四六⑤

一四六⑤

一四六⑥

一四六⑨

一四六⑪

一四七⑨

一四七⑩

一四七①

一四七④

さま(様)(名)

一四八⑫

一四八⑬

一五〇④

一四七⑧

一四九①

一四二⑩

一四七①

一四七②

一四五⑫

一四六⑩

一五〇⑫

一四八②

さぶらへへ命

一四三④

一四三⑥

一四三⑦

一四三③

一四九⑫

一四二⑤

一四二⑭

一四三③

一四三④

一四三⑥

一四三⑦

一四三③

一四三④

一四三⑥

一四三⑦

一四三③

一四三④

一四三⑥

一四三⑦

一四三③

一四三④

一四三⑥

一四三⑦

一四三③

さぶらへへ已

一四一⑨

一四一⑩

一四一⑤

一四一⑧

一四二⑪

一四二⑬

一四二⑨

一四二⑩

一四四⑤

一四四⑧

一四四⑨

一四四⑤

一四五⑨

一四七②

一四七⑤

一四八⑬

一五〇⑫

一五〇⑭

一四七⑤

一四八⑬

一五〇②

一五〇⑤

一五〇⑤

一五〇⑦

一五〇⑦

一五〇⑧

一五〇⑧

一五〇⑩

一五一②

一五一④

一五一④

一五一⑤

一五一②

一五一④

一五一④

一五一⑤

一四一⑨

一四一⑫

一四一⑬

一四一⑭

一四二⑦

一四三⑩

一四三⑪

一四三⑫

一四六①

一四六②

一四八⑩

一四九③

一四九③

一五〇⑪

一五〇⑬

一四一⑧

↓ありさま・おんさま・さまざまなり

さまざま・なり〔様様なり〕(形動)

さまざまに〈用〉

一四一②

さるまじき〈体〉  
されば〔然れば〕(接続)

一四二③

一四七②  
一四三②

さ・む〔覚む〕(下二)

さめ〈用〉

一四九①

さむ・し〔寒し〕(形)

さむき〈体〉

一四八⑤

し〔師〕(名)  
じ〔事〕

さめ〔覚め・醒め〕

↓みさめ

↓ぶつじ  
しき〔敷〕

さやう・なり〔然様なり〕(形動)

さやう〈幹〉

一四四⑨

↓ももしき  
しきりに〔頻りに〕(副)

さやは〔然やは〕

一四一②

しげ・し〔繁し・茂し〕(形)

さ・り〔然り〕(ラ変)

一四四②

しげく〈用〉

さる〈体〉一四二⑩ 一四八③

一四八④

一四八⑫

した〔下〕

一四四④

一四九⑥

↓さるべし・さるまじ・されば

さ・る〔去る〕(四)

一四一②

↓したば  
したが・ふ〔従ふ〕(四)

さら〈未〉

一四七④

したがひ〈用〉

さり〈用〉

一四七④

した・し〔親し〕(形)

さる・べし〔然るべし〕

一四三⑦

したしから〈未〉

さるべから〈未〉

一四七③

したしき〈体〉

さるべし〈止〉

一四四⑩

したば〔下葉〕(名)

さるべき〈体〉

一四六⑧

しづか・なり〔静かなり〕(形動)

さる・まじ〔然るまじ〕

一四四⑩

しづかに〈用〉

一四四⑩

一四六⑩

しのびすぐ・す〔忍び過ぐす〕(四)

しのびすぐし〔用〕

しの・ぶ〔偲ぶ・慕ぶ・賞ぶ〕(四)

しのば〔未〕

しの・ぶ〔忍ぶ〕

↓しのびすぐす

しひて〔強ひて〕(副)

し・む〔染む〕(下二)

しめ〔用〕

しも〔霜〕

↓しもがれ

しもがれ〔霜枯れ〕(名)

じやうず〔上手〕(名)

しゆくごふ〔宿業〕(名)

しよ〔所〕

↓ごしよ

し・る〔知る〕(四)

しら〔未〕

しり〔用〕

しる〔体〕

↓おほしめししる・おんしる・みしる

しんこきん〔新古今〕(名)

す

す〔簾〕

↓みす

す〔為〕(サ変)

せ〔未〕

し〔用〕

する〔体〕

↓くやうす・ごらんず・そうす

す・う〔据う〕

↓かしづきすう

すがた〔姿〕(名)

すぐ・す〔過ぐす〕(四)

すぐさ〔未〕

すぐし〔用〕

すぐす〔体〕

↓しのびすぐす

すくな・し〔少なし〕(形)

すくなく〔用〕

すくなき〔体〕

すさま・じ〔凄じ・冷じ〕(形)

すさまじく〔用〕

一四一①

一四二⑨

一四三⑤

一五〇⑦

一五〇⑦

一四三⑪

一四七③

一四四③

一四六⑤

一四九⑩

一四四③

一四三③

一四五⑨

一四八⑦

一四八⑦

一四八⑦

一四八⑦

一四八⑦

一四八⑦

一四八⑦

一四八⑦

一四八⑦

一四八⑦

一四八⑦

一四八⑦

一四八⑦

一四八⑦

一四八⑦

すさみ〔進み・荒み・遊び〕

↓ふでのすさみ

すすみおく・る〔進み後る〕(下二)

すすみおくれ〔用〕

すすみおこ・る〔進み起こる〕(四)

すすみおこり〔用〕

すすみか・く〔進み書く〕(四)

すすみかく〔止〕

すす・む〔進む〕

↓すすみおくる・すすみおこる・すすみかく

すす・む〔勧む・薦む〕(下二)

すすめ〔用〕

↓まうしすすむ

すずろ〔漫ろ〕

↓すずろぶみ

すずろぶみ〔漫ろ文〕(名)

すぢ〔筋〕(名)

↓すぢごと・すぢなし

すぢごと〔筋毎〕(名)

すぢな・し〔筋無し〕(形)

すぢなき〔体〕

す・つ〔捨つ〕

↓はきすつ

すでに〔既に〕(副)

すべらぎ〔天皇〕(名)

すまひ〔住居〕(名)

↓おんすまひ

すゑ〔末〕(名)

↓ゆくすゑ

せ

せ〔世〕

↓あくせ

せんざい〔前裁〕(名)

そ

そ〔十〕

↓みそ

そ〔其〕

↓その

そう〔僧〕(名)

そう〔奏〕

↓そうす

そう・す〔奏す〕(サ変)

一四三⑪

一四二⑧

一四六⑭

一五〇④

一四二⑩

一五〇⑪

一四二⑤

一四三④

一五〇⑦

一五〇⑧

一四四④

一四四②

一四八⑧

一四四⑧

一五〇⑬

一四九⑥

そうせ〈未〉

一四六⑨

そし・る〔誇る・譏る・誹る〕

たが・ふ〔違ふ〕(下二)

一四七⑩

↓もどきそしる

たき〔薰き〕

そで〔袖〕(名)

一五〇⑥

↓たきもの

その〔其の〕一四二⑧

一四四⑧

一四七⑧

一四九⑨

たきもの〔薰き物〕

一五〇②

そ・ふ〔添ふ〕(下二)

たけ〔竹〕

そへ〈用〉

一四一⑭

↓くれたけ

そ・む〔初む〕(接尾)

ただ〔直・唯・只〕(副)

一四一⑬

一四二③

一四五⑩

↓ならはしそむ

一四七⑤

一四七⑪

一四九③

一五〇⑧

そむ・く〔背く〕(四)

一五〇⑭

そむく〈止〉

一四六⑩

たち〔達〕(接尾)

そら・なり〔空なり〕(形動)

↓みやたち

そらに〈用〉

一四三⑥

たちかへり〔立ち返り〕(副)

一四四⑤

それ〔其れ〕(代名)

一四七②

一四七④

一五〇⑭

た・つ〔立つ〕(四)

た

↓たちかへり

た・つ〔立つ〕(下二)

だい〔題〕(名)

一四二⑩

だい〔怠〕

たづき〔方便〕(名)

一四五⑪

↓けだい

たが・ふ〔違ふ〕(四)

たつと・し〔尊し・貴し〕(形)

一四九⑥

たがひ〈用〉

一五〇⑥

たづ・ぬ〔尋ぬ〕(下二)

たづね〈用〉

一四五②

たの・む〔頼む〕(四)

た・ゆ〔絶ゆ〕(下二)  
たえ〈未〉

一四一⑥

一五〇⑫

たのみ〈用〉

一四九⑩

たより〔便り〕(名)

一四一⑥

一四一⑤

たび〔度〕

一四五⑩

たれ〔誰〕(代名)

一四四⑭

一四六⑬

一四七⑥

↓いくたび

たましひ〔魂〕(名)

一四三②

ち〔千〕

たまは・る〔賜はる〕(四)

一四二⑦

↓ちひろ

たまはり〈用〉

一四二⑦

ち〔茅〕

たま・ふ〔賜ふ・給ふ〕(四)

一五〇①

↓あさぢ

たまは〈未〉

一五〇①

ち〔方〕(接尾)

たま・ふ〔賜ふ・給ふ〕(補助動・四)

一四六⑦

↓いづち

たまは〈未〉

一四六⑦

ぢ〔路〕(接尾)

たまひ〈用〉

一四二⑦

↓みそぢ

一四三⑥

一四二⑦

ちか・し〔近し〕(形)

一四六⑦

一四四①

ちかく〈用〉

一四六⑦

一四六⑧

ちかき〈体〉

一四六⑦

一四六⑧

ちがひ〔違ひ〕

一五〇①

一四九①

↓ちがひめ

たまふ〈止〉

一四五①

ちがひめ〔違ひ目〕(名)

ためし〔例〕(名)

一四九①

ちぎりお・く〔契り置く〕(四)

たも・つ〔保つ〕(四)

一四九⑧

ちぎりおき〈用〉

一四七②

ちぎ・る〔契る〕(四)

ちぎり〈用〉

一四一③

↓ちぎりおく

ちひろ〔千尋〕(名)

一四八⑧

ちやう〔帳〕

つ・く〔付く・着く〕(下二)

↓きちやう

つけ〈用〉一四二⑩ 一四三⑥ 一四五⑭ 一四六④

ぢよく〔濁〕

一五〇⑨ 一五〇⑨

↓ごぢよく

づし〔廚子〕

ちりゆ・く〔散り行く〕(四)

↓みづし

ちりゆく〈体〉

一四五⑩

つづ・く〔続く〕(四)

ち・る〔散る〕

つづか〈未〉

一四四③

↓ちりゆく

↓まうしつづく

つ

つね・なり〔常なり〕(形動)

つ〔箇・個〕(接尾)

つま〔端〕(名)

一四二⑨

↓いつつ・ななつ・ひとつ・やつ

つも・る〔積もる〕(四)

一四五⑨

ついで〔序〕(名)

一四六⑧

つもり〈用〉

つか・ふ〔使ふ〕

つゆも〔露も〕

一四一⑪

↓めしつかふ

つる〔鶴〕

一四六⑦

つかへ〔仕へ〕

↓よるのつる

↓みやづかへ

つれづれ・なり〔徒然なり〕

つぎ〔継ぎ〕

↓おんつれづれなり



て

て〔手〕

↓くもで

で〔出〕

↓おもひで

と

と

↓とかく・とても・とに

とう〔東・春〕

↓とうぐう

とうぐう〔東宮・春宮〕(名)

とかく〔副〕

とき〔時〕(名)

↓ときよ・ひととき

ときよ〔時世〕(名)

と・く〔解く〕

↓うちとく

とこなつ〔常夏〕(名)

ところ〔所〕(名)

↓おきどころ・みどころ

ところ〔所〕(接尾)

↓ひとところ

とし〔年・歳〕(名)

↓おんとし

とせ〔年・歳〕(接尾)

↓いくとせ・はたとせ・ふたとせ・みとせ

と・づ〔閉づ〕(上二)

とぢ〔用〕

とても

↓とてもかくても

とてもかくても

ととの・ふ〔調ふ・整ふ〕(四)

ととのふ〔体〕

とどま・る〔留まる・停まる・止まる〕(四)

とどまれ〔已〕

とど・む〔留む・停む・止む〕

↓ごらんじとどむ

とに

↓とにかくに

とにかくに

どの〔殿〕(接尾)

↓ないしどの

一四二③

一四七⑥

一四七⑫

一五〇①

一四七⑦

一四五⑭

と・ふ〔問ふ・訪ふ〕

↓こととふ

とほ・し〔遠し〕〔形〕

とほから〔未〕

とほく〔用〕

とほき〔体〕

↓ものとはし

と・む〔止む・留む〕〔下二〕

とめ〔用〕

ともな・ふ〔伴ふ〕〔四〕

ともなひ〔用〕

とり〔鳥〕

↓はなとり・みやこどり

とりた・つ〔取り立つ〕〔下二〕

とりたて〔用〕

とりわき〔取り分き〕〔副〕

とる〔取る〕〔四〕

とり〔用〕

↓おぼしとる・とりたつ・とりわき・ひきとる

な

な〔名〕〔名〕

↓うきな・おんな

な〔字〕

↓まんな

ないし〔内侍〕

↓ないしどの

ないしどの〔内侍殿〕

↓きのないしどの

なか〔中〕

↓なかがろ

なかがろ〔中頃〕〔名〕

なが・む〔眺む〕〔下二〕

ながめ〔用〕

ながれ〔流れ〕〔名〕

なぐさ・む〔慰む〕〔下二〕

なぐさめ〔用〕

なげ・く〔嘆く・歎く〕〔四〕

なげか〔未〕

↓おぼしめしなげく

なごり〔名残〕〔名〕

な・し〔無し〕〔形〕

なから〔未〕

なく〔用〕

一五〇⑥

↓あるかなきか・かひなし・ならびなし・すぢなし

なし〔為し・成し〕

↓もてなし

な・す〔為す・成す〕(四)

なし〔用〕

一四八③

↓いひなす・おほせなす・もてなす

なつか・し〔懐かし〕(形)

なつかしかる〔体〕

一四七⑦

なな〔七〕

↓ななつ

ななつ〔七つ〕(名)

なに〔何〕(名)

一四四②

一四五①

一四五④

一四五④

↓なにとやらむ

なにとやらむ

なには〔難波・浪速〕(名)

なほ〔猶・尚〕(副)

一四八⑤

一四八⑧

一四九⑤

一五〇⑥

なみ〔波〕(名)

↓かはなみ

ならはしそ・む〔習はし初む〕(下二)

一四一⑥

ならはしそめ〔用〕

一四三⑧

ならは・す〔慣らはす・習はす〕

↓ならはしそむ・まうしならはす

ならひ〔慣ひ・習ひ〕(名)

一四五⑩

一五〇⑨

ならび〔並び〕

↓ならびなし

ならびな・し〔並び無し〕(形)

ならびなく〔用〕

一四一⑬

なら・ふ〔習ふ〕

↓かきならふ

な・る〔成る〕(四)

なり〔用〕

一四一②

一四一⑧

一四五③

なる〔体〕

一四八⑬

に

にくいげ・なり〔憎いげなり〕(形動)

にくいげに〔用〕

一四四⑨

にく・し〔憎し〕(形)

にくき〔体〕

一四二④

↓こころにくし

にく・し〔憎し〕(接尾)

↓うちとけにくし

にし〔西〕

↓にしひんがし

にしひんがし〔西東〕(名)

にち〔日〕

↓いちにち

には〔庭〕(名)

にほひ〔匂ひ〕(名)

↓おんにほひ

にようばう〔女房〕(名)

ぬ

ぬ〔寝〕(下二)

ね〔用〕

ぬる・し〔形〕

ぬるき〔体〕

ね

ね〔音〕

↓もののね

ね〔根〕(名)

ね〔寝〕

↓うたたね

ねん〔念〕

↓まうねん

の

のう〔能〕

↓おんのう

のき〔軒〕(名)

のち〔後〕(名)

↓のちのよ

のちのよ〔後世〕

のり〔法〕(名)

は

は〔葉〕

↓ことば・したば・ふたば

はえ〔映え・栄え〕(名)

はかなげ・なり〔果無げなり〕(形動)

はかなげに〔用〕

はかな・し〔果無し〕(形)

はかなき〔体〕

↓はかなげなり

一四七⑤

一四七⑥

一五〇⑫

一四八⑧

一五〇②

一四二⑨

一四三①

一四九①

一四八⑦

一五〇⑫

一五〇②

一四七⑤

一四七⑥

一四八⑧

一五〇⑫

一四二⑨

一四三①

一四九①

一四八⑦

一五〇⑫

一五〇②

一四七⑤

一四七⑥

一四八⑧

一五〇⑫

一四二⑨

一四三①

一四九①

一四八⑦

一五〇⑫

一五〇②

一四七⑤

一四七⑥

はか・る〔計る・量る・謀る〕

↓おしはかる

はきす・つ〔掃き捨つ〕(下二)

はきすて〔用〕

はし〔橋〕

↓やつはし

はしら〔柱〕(名)

はた〔二十〕

↓はたとせ

はたとせ〔二十年〕(名)

はぢ〔恥・辱〕(名)

は・つ〔果つ〕(下二)

はて〔未〕

↓かれはつ

はづれ〔外れ〕(名)

はな〔花〕(名)

一四八⑧

↓はなとり

はなとり〔花鳥〕(名)

はなやか・なり〔花やかなり・華やかなり〕(形動)

はなやかに〔用〕

はべ・り〔侍り〕(ラ変)

はべる〔体〕

はべ・り〔侍り〕(補助動・ラ変)

はべり〔用〕

はら・ふ〔払ふ・掃ふ〕(四)

はらは〔未〕

↓うちはらふ

はる〔春〕(名)

はるか・なり〔遙かなり〕(形動)

はるかに〔用〕

ひ

ひ〔日〕(名)

ひ〔火〕(名)

ひが〔僻〕(接頭)

↓ひがごと

ひがごと〔僻事〕(名)

ひかり〔光〕(名)

ひき〔引き〕(接頭)

↓ひきかくす

ひきかく・す〔引き隠す〕(四)

ひきかくし〔用〕

ひきと・る〔引き取る〕(四)

ひきとら〔未〕

一四八①①

一五〇①①

一五〇⑥

一五一⑥

一四八⑦

一五一④

一四七⑫

一四七⑧

一五〇⑨

一四四④

一四六⑭

ひ・く〔引く〕(四)

ひか〈未〉

一四九①

↓ひきとる

ひく〔弾く〕(四)

ひか〈未〉

一四三⑩  
一四四①

ひじり〔聖〕(名)

一四九⑥  
一四九⑨

ひたひ〔額〕(名)

一四四⑭

ひぢ〔肘〕(名)

ひら・く〔開く〕(下二)

ひと〔人〕(名)

ひらけ〈用〉

一四八⑦

一四二②

一四一⑪

一四一⑬

一四二①

一四四③

一四二⑥

一四二⑬

一四四②

一四四⑧

一四四⑤

一四四⑥

一四四⑦

一四五②

一四四⑧

一四四⑨

一四四⑩

一四五③

一四五③

一四五⑨

一四五⑫

一四七④

一四六④

一四六⑧

一四六⑬

一四八⑬

一四七⑫

一四八⑨

一四八⑩

一五〇⑥

一四九③

一五〇①

一五〇②

ひと〔二〕(接頭)

↓ひときは・ひとつ・ひととき・ひとところ・ひとり・

ひとわたり

ひときは〔一際〕(副)

一四四⑤

ひとつ〔一つ〕(名)

一四四⑧

一四五⑦

ひととき〔一時〕(名)

ひとところ〔一所〕(名)

ひとびと〔人人〕(名)

一四四⑬

ひとり〔一人・独り〕(名)

一四九⑦

ひとわたり〔一渡り・一渉り〕(名)

一四九④  
一四三⑦

びは〔琵琶〕

↓おんびは

ひら・く〔開く〕(下二)

ひらけ〈用〉

一四八⑦

ひろ〔尋〕

↓ちひろ

ひんがし〔東〕

↓にしひんがし

ふ

ふ〔経〕(下二)

ふる〈体〉

一四五⑪

ふか・し〔深し〕(形)

ふかく〈用〉

一四八⑭

ふし〔伏し〕

↓おきふし

ふし〔節〕

↓ふしぶし  
 ふしぶし〔節節〕(名)  
 ふすま〔衾・被〕(名)  
 ふた〔二〕  
 ↓ふたとせ・ふたば  
 ふたとせ〔二年〕(名)  
 ふたば〔二葉・双葉〕(名)  
 ぶつ〔仏〕  
 ↓ぶつじ・ほとけ  
 ぶつじ〔仏事〕  
 ↓おんぶつじ  
 ふで〔筆〕  
 ↓ふでのすさみ  
 ふでのすさみ〔筆のすさみ〕  
 ふと〔副〕  
 ふね〔船・舟〕(名)  
 ふみ〔文〕  
 ↓おんふみ・すずろふみ  
 ふみわ・く〔踏み分く〕(下二)  
 ふみわくる〔体〕  
 ふ・む〔踏む〕  
 ↓ふみわく

一四二⑥

一四一⑫  
 一四八⑤  
 一四六⑦  
 一四六①  
 一四七⑥  
 一四七⑥

ふゆ〔冬〕(名) 一五〇⑦  
 ふよう〔不用・不要〕  
 ↓ふようめく  
 ふようめ・く〔不用めく・不要めく〕(四)  
 ふようめき〔用〕 一四二④  
 ふ・る〔触る〕(下二)  
 ふれ〔用〕 一五〇⑥  
 ふ・る〔振る〕  
 ↓ふるまふ  
 ふる・し〔古し・旧し〕(形)  
 ふるき〔体〕 一四六⑬  
 ふるま・ふ〔振る舞ふ〕(四)  
 ふるまは〔未〕 一四二②  
 一四四⑦  
 へ  
 へだ・つ〔隔つ〕(四)  
 へだつ〔体〕 一五一⑥  
 ほ  
 ほそ・し〔細し〕  
 ↓こころぼそし  
 ほど〔程〕(名) 一四一⑤  
 一四一⑨  
 一四一⑫

③ ④ ⑤ ⑦

一四五② 一四五③ 一四五⑦ 一四五⑭

一四六①  
一四六⑧  
一四七⑪

↓  
おん  
ほ  
ど

ほとけ 〔仏〕 (名)

一四七①

四九⑦

↓かみほとけ・ほとけのみち・ぶつ

ほとけのみち  
〔仏の道〕

ほね〔骨〕(名)

一四七⑫

ま

ま  
〔真〕  
(接頭)

↓まんな

もう〔妄〕

↓まうぎゅう・まうねん

まうざう 〔妄想〕 (名) 一五〇⑫

一五〇⑬

まうしおも・ふ〔申し思ふ〕(四)

まうしおもふ〈体〉

まうしきた〔申し沙汰〕（名）

まうしすす・む  
〔申し勧む〕  
〔下二〕

もうすすすめ〈用〉

まうしつづ・く「申し続く」(下二)

まうしつづけ〈用〉

まうしならは・す〔申し習はす〕（四）

まうしならはし〈用〉

まうしわら・ふ〔申し笑ふ〕（四）

まうしわらふ〈体〉 一四四⑭

まう・す〔申す〕（四）

まうし 〔用〕

一四一	⑫	一四三	③	一四三	⑤
-----	---	-----	---	-----	---

一四五① 一四九③ 一四九⑥

まうす〈体〉 一四八① 一四九②

↓まうしおもふ・まうしきた・まうしすすむ・まうし

つづく・まうしならはす・まうしわらふ

まう・す〔申す〕（補助動・四）

まうし ④

まうす〈体〉

まうねん〔妄念〕(名)

まか・つ〔罷〕〔下〕

一四六⑧  
まかでへ来、

まき  
〔真木・樹〕(名)  
一四七⑦

〔朋〕  
〔修〕

目三ノ六

三ノ目	三ノ目
二ノ目	二ノ目
一ノ目	一ノ目

〔補力力〕



ましまし〔用〕	一四二②	一五一④	まへ〔前〕	
まじろひ〔交じろひ〕			↓おまへ	
↓おんまじろひ			まま〔儘〕〔名〕	一四八⑬
まぜ〔雑ぜ〕			まよ・ふ〔迷ふ〕〔四〕	一五一②
↓かきまぜ			まよは〔未〕	一四六⑩
また〔又・亦・復〕〔副・接〕			まよふ〔未〕	一四七⑧
一四三⑩	一四四②	一四一⑦	まれ・なり〔稀なり〕〔形動〕	
一四六⑤	一四九⑪	一四四③	まれに〔用〕	一四一⑥
まだ〔未だ〕〔副〕		一四二④	まゐら・す〔参らす〕〔下二〕	一四五⑪
まつ〔松〕〔名〕		一四六①	まゐらせ〔用〕	一五一⑤
まづ〔先づ〕〔副〕		一四五⑩	まゐら・す〔参らす〕〔補助動・下二〕	
まど〔窓〕		一四一⑬	まゐら〔未〕	一四六⑪
↓まどのうち			まゐらせ〔用〕	一四三⑨
まどのうち〔窓の中〕	一四五⑦		一四三⑪	一四一④
まなびい・づ〔学び出づ〕〔下二〕			一四六⑧	一四六①
まなびいで〔用〕	一四五⑧		一四七⑨	一四八⑤
まな・ぶ〔学ぶ〕			一四八⑪	一四九②
↓まなびいづ			まゐり〔参り〕	
まね・ぶ〔学ぶ〕〔四〕			↓いままゐり	
まねぶ〔体〕	一五〇②		まゐる・る〔参る〕〔四〕	一四四⑩
ま・ふ〔舞ふ〕			まゐり〔用〕	一四六⑬
↓ふるまふ			まんな〔真名〕〔名〕	一四二⑨

み

み〔身〕(名)

一四六②

↓おんみ

み〔三〕

みす〔御簾〕(名)

一四四⑬

↓みとせ

み〔見〕

みそち〔三十〕(名)

一四一⑧

↓みどころ

み〔御〕(接頭)

みそぢ〔三十一〕(名)

一四一⑧

↓みどころ・みす・みづし・みよ・お・おん・ご

みがきくた・す〔磨き朽たす〕(四)

みだりごこち〔乱り心地〕(名)

一四六⑨

みがきくたせ〔命〕

一四三①

みが・く〔磨く〕

みち〔道〕(名)

一四五④

↓みがきくたす

みき・く〔見聞く〕(四)

↓ほとけのみち

一四八⑥

みきき〔用〕

みづ〔水〕(名)

一四六⑦

みこころ〔御心〕(名)

みづし〔御廚子〕(名)

一四二⑦

一四一⑭

みどころ〔見所〕(名)

一五〇④

一四三⑤

みとせ〔三年〕(名)

一四八⑪

一四六④

みな〔皆〕(名)

一四八⑨

一四六⑧

みや〔宮〕

一四八⑨

一四九④

↓みやたち・みやづかへ

一四九⑪

一五〇⑦

みやこ〔都〕

一五一①

一五〇⑨

↓みやこどり

一四六⑧

一四六⑧

みさだ・む〔見定む〕(下二)

一四一⑤

みやたち〔宮達〕(名) 一四六⑪

みやづかへ〔宮仕へ〕(名) 一四五⑭

み・ゆ〔見ゆ〕(下二)

みえ〔未〕 一四七③

みえ〔用〕 一四一④

みよ〔御代・御世〕(名) 一四二⑧

みる〔見る〕(上二) 一四六①

み〔用〕 一四一⑪

↓みきく・みさだむ・みさめ・みしる

む

む〔無〕

↓むえん

むえん〔無縁〕(名) 一四九⑤

むか・ふ〔向かふ・対ふ〕(四)

むかひ 一四四②

むぐら〔葎〕(名) 一四四⑧

むけ〔向け〕 一四七⑤

↓こころむけ

むす・ぶ〔結ぶ〕(四)

むすび〔用〕 一四七②

むばたま

↓むばたまの  
むばたまの(枕) 一四八⑧

め

め〔目〕(名) 一四八⑪

↓ちがひめ

め・く〔接尾〕

↓ふようめく

めしつか・ふ〔召し使ふ〕(四)

めしつかは〔未〕 一四五⑪

め・す〔召す〕

↓めしつかふ

も

も・つ〔持つ〕(四)

もた〔未〕 一五〇④

もち〔用〕 一四六⑪

もて〔接頭〕

↓もてなし・もてなす

もてなし〔もて成し〕(名) 一四四⑬

もてな・す〔もて成す〕(四)

もてなす〔体〕 一四八⑬

もどきそし・る〔抵悟き誇る〕(四)

もどきそしり〈用〉

一四二②

もど・く〔抵悟く〕

↓もどきそしる

もの〔物・者〕(名)

一四一⑨ 一四二⑩

一四三⑦

一四五④

一四五⑬ 一四九⑩

一五〇⑦

一五〇⑫

↓たきもの・もののね

もの〔物〕〔接頭〕

↓ものうげなり・ものうし・ものとはし

ものうげ・なり〔物憂げなり〕(形動)

ものうげに〈用〉

ものう・し〔物憂し〕(形)

ものうく〈用〉

↓ものうげなり

ものがたり〔物語〕

↓ものがたりゑ

ものがたりゑ〔物語絵〕(名)

ものとは・し〔物遠し〕(形)

ものとはく〈用〉

もののね〔物の音〕

もみぢ〔紅葉〕(名)

もも〔百〕

↓ももしき

ももしき〔百敷〕(名)

も・る〔漏る〕

↓もれきく・もれきこゆ

もれき・く〔漏れ聞く〕(四)

もれきき〈用〉

もれきこ・ゆ〔漏れ聞こゆ〕(下二)

もれきこえ〈用〉

や

やう〔様〕(名)

やう〔様〕(名)

やう〔様〕(名)

やう〔様〕(名)

やう〔様〕(名)

やか〔接尾〕

↓こまやかなり・はなやかなり

やがて〔副〕

やしろ〔社〕(名)

やす・し〔安し〕(形)

やすく〈用〉

↓こころやすし

一四六③

一四六③

一四六③

一四六③

一四六③

一四二①

一四二①

一四五⑧

一四五⑧

一四五⑧

一四五⑧

一四四⑥

一四四⑥

一四四⑥

一四四⑥

一四四⑥

一四四⑥

一四四⑥

一四四⑥

一四四⑥

一四四⑥

一四四⑥

やつ〔八つ〕(名)

一四三⑩

↓やつはし

やつはし〔八つ橋〕(名)

一四一⑥

やま〔山〕

↓やまがつ・やまざと

やまがつ〔山賊〕(名)

一四六②

やまざと〔山里〕(名)

一四八④

やみ〔闇〕(名)

一四七⑧

や・る〔遣る〕(四)

やら〔未〕

一四一⑦

ゆ

ゆか・し(形)

ゆかしき〔体〕

一四四⑫

一五〇④

ゆき〔雪〕(名)

一四四⑪

ゆ・く〔行く・往く〕(四)

ゆき〔用〕

一四六⑬

一四七④

↓ちりゆく・ゆくすゑ

ゆくすゑ〔行く末〕

↓おんゆくすゑ

ゆめ〔夢〕(名)

一五〇⑭

ゆゑ〔故〕(名)

一四七⑦

よ

よ〔世・代〕(名)

一四一⑬ 一四四② 一四五⑦

一四五⑧

一四五⑨ 一四五⑪ 一四五⑫

一四六⑤

一四七③ 一四七⑪ 一四七⑫

一五〇⑨

一五一①

↓いまのよ・うきよ・ときよ・のちのよ・みよ・よつ

ぎ・よよ

よ〔夜〕(名)

一四三⑨ 一四八⑥

↓よる

よく〔良く・能く〕(副)

一四一⑬

↓よくよく、よし

よくよく〔良く良く・能く能く〕(副)

一四五⑤

よ・し〔良し・好し・善し〕(形)

よから〔未〕

一四四④

よく〔用〕

一四五⑨

よき〔体〕

一四二③

よかる〔体〕

一四五⑧

↓よく、よしあし

よしあし〔善し悪し〕

一四一①

よそ〔余所〕(名)

一四五⑬

よそ・ふ〔寄そふ・比ふ〕



わたらへ未

一四二⑤

わたりへ用

一四一⑦

わらふ〔笑ふ〕

をこ〔痴・烏滸・尾籠〕

↓まうしわらふ

↓をこがまし

われ〔我・吾〕〔代名〕

一四七⑦

をこがまし〔痴がまし〕〔形〕

↓われら

をこがましきへ体

われら〔我等〕〔代名〕

一五〇⑪

を・し〔惜し〕〔形〕

わろ・し〔悪し〕〔形〕

をしからへ未

わろくへ用

一四三②

をり〔折〕〔名〕

一四八⑩

ゐ

付記

ゐ〔居〕

本索引〔稿〕は、黒沢絵美さん（文学科専攻科学生）との共同作業によるものであるが、記載事項についての責任は、若林にある。

↓くもゐ

（若林記）

ゐよ・る〔居寄る〕〔四〕

一四四⑬

ゐよりへ用

ゐる〔居る〕

一四三②

↓こもりゐる・ゐよる

ゐん〔院〕〔名〕

一四三⑨

ゑ

ゑ〔絵〕〔名〕

一四二⑬

一五〇④

↓ものがたりゑ